

2024年7月吉日

**一般社団法人日本民俗建築学会**  
**2024年度シンポジウム・見学会のご案内**

東京都新宿区北町18  
**一般社団法人日本民俗建築学会**  
minken@outlook.jp

一般社団法人日本民俗建築学会の2024年度のシンポジウムと秋の見学会の開催ご案内をお送りいたします。シンポジウムは愛知県名古屋市南山大学にて行い、翌日の見学会は知多半島を巡ります。

名古屋市での開催は、2011年に第38回大会を愛知淑徳大学で行って以来、13年振りとなります。どうぞシンポジウムと見学会を堪能していただければ幸いです。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

## 1. 日 程

2024年10月26日（土曜、シンポジウム）、27日（日曜、見学会）

## 2. 第29回シンポジウム

日時：2024年10月26日（土）13時30分～16時30分（13時から受付）

テーマ：「住まう」空間を求めて－暮らしの場の確保と変容を探究する－

会場：南山大学R棟1階フラッテンホール（大学正門近く）名古屋市昭和区山里町18

趣旨説明：谷沢明（本学会評議員、愛知淑徳大学名誉教授）

総合司会：林哲志（本学会評議員、愛知県立成章高等学校教諭）

パネリスト報告

- ・藤川美代子（本学会会員、南山大学人文学部人類文化学科准教授）

「水上と陸上に住まう術－中国福建の河と海に生きる連家船漁民の生活史－」

- ・福本拓（南山大学人文学部日本文化学科准教授）

「在日朝鮮人集住地区の暮らしと住まい－エスニック社会と資本の役割に着目して－」

- ・池田孝博（本学会理事、柏崎市立博物館学芸員）

「暮らしを築く場としての小屋－新潟県の海辺を事例に－」

パネルディスカッション：藤川美代子、福本拓、池田孝博、林哲志（司会）

シンポジウム趣旨：日本では高度経済成長期を経て、人が住んでいる民家を、生身の居住者に接しながら調査することがつとに難しくなりました。今、私たちは「暮らしの場」と言われてきた民家の、どのようなところに目を向けていったらよいのでしょうか。また、どのようなことに目を止めて記録を残したらよいのでしょうか。

このシンポジウムでは、中国福建省の河と海に暮らす船上生活者が水上と陸上の双方に生活の空間を求める姿、大阪市という都市の中心部で在日朝鮮人の人びとが集住地区をつくり出していく姿、さらに新潟県の海沿いに建てられた小屋を用いながら海に依拠して暮らす人びとの姿に注目し、「住まう」とはどのような営みなのかを考えます。

パネリストは、いずれも人びとの生活に入り込んで調査をするのがきわめて難しくなった21世紀の時代に調査をしてきました。言い換えると、従来の伝統文化や習俗が大きく移り変わった中で調査をし、記録を残したことが三名に共通しています。時代が移り変わる中で、これから我われはどのようなことに目を向けたらよいのか、また、後世にどのような記録を残したらよいのか、示唆を与えてくれるのではないかと期待できます。

### 3. 情報交換懇親会

日時：2024年10月26日（土）18時30分～20時30分

会場：名古屋ガーデンパレス2階「翼の間」

名古屋市中区錦三丁目11番13号 電話 052-957-1022

（地下鉄東山線・名城線「栄駅」から徒歩5分）

\*シンポジウム会場から情報交換懇親会会場までは学会専用バスを用意しております。

### 4. 宿泊

2024年10月26日（土）の宿泊は、学会で下記のホテルを一般価格より割安で確保しています。ご希望の方は、個人で直接ホテルにお電話いただき、学会名を伝えて確保していただきます。ホテルご到着後にお支払いも各自でお済ませください。なお、確保しているお部屋の数には限りがありますので先着順とし、申し込みの最終期限は10月19日（土）とさせていただきます。また、キャンセルなども各自でホテルに直接ご連絡ください（キャンセル・ポリシーはホテルの規定に準じます）。

名古屋ガーデンパレス（地下鉄東山線・名城線「栄駅」から徒歩5分）

名古屋市中区錦三丁目11番13号 電話052-957-1022（フロント「宮崎さん」をお呼びいただくと、予約がスムーズです）

シングル9,850円（税サ込み、朝食付）、ツイン17,600円（税サ込み、朝食付）

### 5. 見学会

見学会日時：2024年10月27日（日）8時～18時

テーマ：知多半島の民家・町並みを訪ねて

見学：8時名古屋ガーデンパレス集合（名古屋市中区錦三丁目11番13号、地下鉄東山線・名城線「栄駅」から徒歩5分）・8時15分出発→

南知多町内海（廻船問屋の街）：内田家佐七住宅（国重文）、内海船船主の家、  
内田佐平二家（登録）、梅原半兵衛家住宅（醸造業、梅原猛が少年期を過ごす）、  
ビアシティ南知多にてお食事（地元の素材を利用した海の見えるレストラン）→  
知多市岡田（木綿織の街）：町並み散策→  
常滑市（焼きものの街）：瀧田家住宅・街散策→  
（中部国際空港に行く方は）常滑駅下車→18時頃名古屋駅解散  
\*大型バス1台の定員は55名。先着順とします。

## 6. 理事会の開催

日時：2023年10月26日（土）10時30分～12時  
会場：南山大学R棟1階会議室（大学正門近く）

## 7. 南山大学へのアクセス

名古屋市営地下鉄名城線「八事日赤駅」<sup>やごとにつせき</sup>より徒歩約8分（一部きつい坂あり）  
名古屋市営地下鉄鶴舞線「いりなか駅」より徒歩約15分（比較的なだらかな坂）

## 8. 参加費

- ① シンポジウム・見学会運営費 3,000円（学生無料、どちらか1日のみでも必要）
- ② 1日目昼食（10月26日） 1,500円
- ③ 情報交換懇親会（10月26日） 7,000円（学生会員も同額、以下同じ）
- ④ 見学会（10月27日） 7,000円（バス・昼食・見学謝礼・入館料等を含む）

## 9. 参加申込み

参加締切り：9月26日必着

次のいずれかの方法で参加申し込みをして下さい。

方法1 同封の葉書に必要項目を記入の上郵送してください。切手はご負担願います。

方法2 メールアドレスを学会に知らせていただいている会員には、メールにて参加登録フォームをお送りしますので、そこから参加申込みを行って下さい。

\*申込者には追って参加費と振込先をご連絡いたします(不参加の葉書送付は不要)。

## 10. 控え

- |                   |          |
|-------------------|----------|
| ① シンポジウム（10月26日）  | 参加する／しない |
| ② 1日目昼食（10月26日）   | 必要／不要    |
| ③ 情報交換懇親会（10月26日） | 参加する／しない |
| ④ 見学会（10月27日）     | 参加する／しない |

## 11. お知らせ

シンポジウム会場の南山大学のキャンパスは、チェコ出身の建築家アントニン・レイモンドが「自然を基本として」というコンセプトのもと、マスタープランを手がけ、1964年につくられました。また、2017年からは「レイモンド・リノベーション・プロジェクト」と名づけた大規模な改修もおこなわれ、ほぼすべてが完成しています。周囲には、カトリック<sup>しんげん</sup>神言修道会の司祭や修道者を養成する施設として、神学院とその聖堂もあり、こちらにもレイモンドの建築です。10月25日(金)、26日(土)の午前中は、キャンパス内の建築のほか、神学院の大聖堂・小聖堂を自由にご見学いただけます（いずれも授業日ですので、教室付近ではご静粛にさせていただくほか、大聖堂・小聖堂では撮影禁止・飲食禁止をご遵守いただきます。神学院をご見学の際は、受付で学会名をお名乗りください。なお、神学院大聖堂・小聖堂は緊急で使用予定が入る可能性があり、その場合は見学ができません）。

さらに、南山大学には、神言会員で、ドイツのアントロポス研究所を立ち上げたヴィルヘルム・シュミットの系譜を受け継ぐ人類学博物館が学内に併設されています。あいにく10月26(土)、27日(日)は閉館日ですが、25日(金)は10:00~16:30まで開館しておりますので、ご関心おありの方は自由にご見学ください(入館無料です)。

### 【主催】

一般社団法人日本民俗建築学会

### 【後援】

南山大学

### 【共催】

10月26日(土)のシンポジウムのみ、南山大学人類学研究所の共催

\*一般の方のシンポジウム参加は無料といたします。

### 【実行委員会】

藤川美代子(委員長、本学会会員)

住所:〒466-8673 愛知県名古屋市中区山里町18 南山大学人文学部人類文化学科

メールアドレス: fujimiyo@nanzan-u.ac.jp 電話: 052-832-3111 (大学代表)

谷沢明(本学会評議員)

林哲志(本学会評議員)

佐藤弘隆(本学会会務担当会議委員)

事業担当: 森 隆男(本学会副会長・理事)



2024年10月26日（土）

13時30分～16時30分

（13時受付開始）

会場：南山大学

R棟1階フラッテンホール

名古屋市昭和区山里町18

（地下鉄名城線「八事日赤」駅より徒歩約8分）

事前申込不要・参加費無料



◇趣旨説明

谷沢明（愛知淑徳大学・名誉教授）

◇パネリスト報告

・藤川美代子（南山大学・准教授）

「水上と陸上に住まう術

－中国福建の河と海に生きる

連家船漁民の生活史－

・福本拓（南山大学・准教授）

「在日朝鮮人集住地区の暮らしと住まい

－エスニック社会と資本の役割に

着目して－

・池田孝博（柏崎市立博物館・学芸員）

「暮らしを築く場としての小屋

－新潟県の海辺を事例に－



◇パネルディスカッション

藤川美代子、福本拓、池田孝博

司会：林哲志

（愛知県立成章高等学校・教諭）

一般社団法人 日本民俗建築学会 第29回シンポジウム

「住まう」空間を求めて

－暮らしの場の確保と変容を探究する－

主催：一般社団法人 日本民俗建築学会

minken@outlook.jp

後援：南山大学

共催：南山大学人類学研究所

実行委員：藤川美代子（委員長）

谷沢明、林哲志、佐藤弘隆

事業担当：森隆男

